

令和4年度第1回大府市子ども・子育て会議（要点記録）

日 時：令和4年5月23日（月）午後1時15分～午後2時45分

場 所：大府市役所 全員協議会室

出席委員：渡辺顕一郎、林田佳美、福島芳恵、中村佳世子、首藤良一、日比野充、
加藤美穂子、澤田まなみ

欠席委員：早川和喜、秋津佐智恵

傍聴者：なし

事務局：健康未来部長、子ども未来課長、子ども未来課副主幹兼指導保育士、子ども未来課子どもステーション所長、子ども未来課子ども支援係長、幼児教育保育課長、幼児教育保育課指導保育士、幼児教育保育課保育係長、健康増進課母子保健係主任、学校教育課長

1. 市長あいさつ

2. 委嘱状の交付

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため机上交付、自己紹介は省略。

3. 会長及び副会長の選任

会長は渡辺顕一郎委員、副会長は中村佳世子委員に決定。

4. 議題

（1）第2期大府市子ども・子育て支援事業計画の概要について

※事務局より説明（説明者：子ども支援係長）

〈質疑応答〉

委員

計画に記載されているこども110番の家について、いつでも子どもが駆け込めるように、登録している家が留守だった場合の対策を市として講じていますか。

事務局

こども110番の家については、危機管理課が担当していますが、本日会議には出席していないため、後日事務局で確認させていただきます。

（2）子ども・子育て支援事業計画及び次世代育成支援対策行動計画の進捗状況について

※事務局より説明（説明者：子ども支援係長）

〈質疑応答〉

委員

24ページの子ども会育成事業について、以前から会員数の減少が問題になっていますが、理由の一つに保護者の負担が大きいことがあげられると思います。そのため、子ども会に加入していない保護者を対象とした説明会の開催や役員の負担軽減などの対策をすると良いと思いますが、市として何か対策を考えていますか。

事務局

市としても会員数の減少は深刻な状況と受け止めています。加入率は平成 22 年度は 81.5%でしたが現在は 49.4%に落ちています。そのため子ども会支援につながる取組を児童老人福祉センタープロジェクト会議で検討していこうと考えております。また役員の負担軽減については、子ども会の役員が地区の役員を兼ねている場合もあり子ども会のみの問題ではないため、自治区やコミュニティと連携して考えていきたいと思っています。

委員

子ども会に限らずコミュニティ活動などでも役員ができないため加入できない若い世代が多いと思います。例えば地域で役員を引き受けてくれるような人がいれば加入率減少に歯止めがかかると思います。市として良い方向性を見出していきたいと思っています。

会長

ご意見のとおり、地域で見直していくことが必要だと思います。加入率の減少には役員の負担のほか、少子化、共働き世帯の増加等様々な要因があると思います。要因を分析し、子ども会の在り方を考えていくことが必要だと思います。

事務局

加入率減少には様々な要因があると思います。また、加入しても習い事、スポーツ少年団等で行事に出ることができずやめてしまったり、高学年になってやめてしまったりする場合があります。そういった要因を総合的に分析していきたいと思っています。また、児童老人福祉センターを活用した支援をしていく中で、保護者のご意見を伺い、負担を軽減できるようなサポートをしていきたいと思っています。業務を委託している社会福祉協議会にも成果連動型民間委託方式（PFS）を導入することで新しい提案がいただけるのではないかと期待しています。

委員

32 ページ、レインボーハウスにおける ICT を利用した不登校児童への遠隔授業の実施について、大府市は ICT 教育に力を入れており、他市町と比べて充実していると思います。不登校児童は多いと聞いていますが、どういった理由で実績が少なかったのでしょうか。

事務局

児童がいつでも授業に参加できる環境は整えており、周知もしているのですが、誰がオンラインで参加しているのか分かってしまうのではないかと不安が児童や保護者にあることが大きな要因だと思われます。児童がオンラインに参加しやすい環境を整える工夫をしていきたいと思っています。

委員

28 ページの子どもの体力向上プロジェクト推進について、子どもの体力向上という点においてコロナ禍が及ぼした影響が各国から報告されています。その中には子どもの運動時間は伸びているが運動能力は落ちているというデータがあり、理由としては運動の質が悪いという分析があります。集団で運動ができず個々で庭や道路等で遊んでいるため質が悪くなっているという実態が見受けられます。そこで、運動や遊びを学校以外で提供できる場として子ども会で子どもの体力向上に取り組んではどうでしょうか。

事務局

保育園では数年前から子どもの体力向上を目的として、専門家による運動あそび巡回を実施するとともに、保育士が研修を受けることで、保育園で子どもが体を動かすことが楽しいと感じられるように日々できる体力づくりを取り入れています。また、児童老人福祉センターでは同じ講師に依頼して、子育て支援講座を実施することで、未就園児を対象に親子でできる体力づくりを応援しています。

委員

昨年から大府市内の小学校において、豊田自動織機シャトルズのラグビー選手が児童の体力向上のためタグラグビーという鬼ごっこのようにタグを取り合うけがの無い安全な運動を教えています。地域貢献のために活動していますので、ご要望がありましたら積極的にお声がけください。

会長

ありがとうございます。事務局でも情報として共有していただければと思います。私からお伺いしたいのですが、19 ページの乳児家庭全戸訪問事業について、訪問は誰が行っていますか。

事務局

保健師が経産婦の方を訪問し、助産師が初産婦の方を訪問しています。

会長

全国的には少子化は進んでいますが、大府市は子育て支援が充実していて、子どもも多く生まれているイメージがあります。しかし、令和 3 年度の実績をみると量の見込みが1,050 人のところ実績は 902 人で見込みを下回っています。大府市でも出生数自体は下がってきていると理解しておけばよろしいでしょうか。

事務局

出生数のデータが手元に無いのですが、母子手帳交付数は減少しています。

会長

実績が 902 件ということは、年度途中の人口移動もありますので厳密には分からないかと思いますが、年間の出生数は千人を切っていますか。

事務局

その通りです。

会長

ありがとうございます。大府市でも出生数は減少していることが分かりました。

全国的に子どもの数は減少していますが、保育需要については共働き世帯の急速な増加のため大都市ではまだ待機児童がいる状況です。しかし、国は 4、5 年後がピークでそこからは下がっていくのではないかと予測しています。今までこの会議では保育の量が足りているのかという問題が検討されてきましたが、大府市においても出生数が減っている中で、今後は待機児童問題よりも減少していく保育需要にどう対応するかという問題を考えていかななくてはならないかと思えます。私に関わっている自治体ではその段階に入っている自治体の方が多く、定員割れの保育所が出てくる中、同じエリアの中にある幼稚園と統合して認定こども園にするなど、縮小の方向で検討を始めています。大府市では今後の保育需要について、どのようにお考えでしょうか。

事務局

平成 30 年、31 年までは大府市でも待機児童がいましたが、それ以降は 0 となっています。0 歳児のピークは平成 20 年代後半から 30 年代と思われ、それ以降は減少し始めています。しかし、区画整理や大型マンションの建設など、人口が伸びる要因もあるため現状を見極めている状況です。ただ吉田・米田地域のように減少傾向の地域もありますので、統合などにより調整しています。また公立の園の老朽化が進んでいるため、再整備計画等を立てて、保育需要との整合性をとっていきたいと思います。

(3) 令和 4 年度新規事業について

※事務局より説明（説明者：子ども支援係長）

〈質疑応答〉

委員

新規事業にはありませんが、大府小学校区はマンションの建設が多いため、学区の変更がないか心配している家庭も多いと思います。行政としてはどのようにお考えでしょうか。

事務局

毎年児童生徒推計を作成し、マンション建設や区画整理を含めて児童生徒数を 10 年後まで推計しています。そのため現在のところ学区の変更計画はなく、急な学区の変更もないと思われます。

委員

家庭で子育て応援クーポンの利用拡大について、どのような理由で3園から5園に拡充することになったのでしょうか。

事務局

今年度から新たに私立保育園3園で一時保育が可能になったため、そちらでも利用できるように拡充しました。

委員

私が保育園に子どもを預けている際、就労日以外の日に予定があり子どもを預かっていたきたいことがありましたが、預けることができませんでした。このクーポンは保育園に入園していない児童が対象になるかと思いますが、保育園を利用している共働き世帯も就労日以外の日に利用できるようにしていただけたらと思います。

会長

保育園を利用されている方は、平日は一般的な働き方をしていれば保育を利用しているはずなので、一時保育は必要がないという考え方で制度設計がされていると思いますが、どのような場合にそのようなニーズがあるのか教えていただけますか。

委員

例えば職場の休日が平日にあり、その日に自分の体調が悪くて病院に行く場合、就労日ではないため子どもを保育園に預けることができません。近くに子どもを預ける親族がなくて一人で病院に行きたい場合などに利用できると良いと思います。

事務局

大府市では年少以上の園児は保護者が就労日ではない日も、保育園を休むようお願いしていないと思いますが、0～2歳児のお子様は年齢が小さいためできるだけご家庭で過ごしていただくようお願いしています。しかし、基本的にはご相談があればご事情に応じて対応することになっていますので、園長会議などを通して市内の保育園に再度周知していきたいと思います。

会長

それでは、ご意見を事務局側で伝えていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

委員

数学検定受検料と英語検定受検料の補助について、学校現場にとっても、子ども達にと

っても非常に有益な取り組みがあつてありがたいと思います。子ども達に挑戦してみたいと思わせる PR を期待していますが、何かお考えはありますか。

事務局

学校を通じたチラシの配布や大府市出身の数学者永田雅宜氏にちなんだ講座を協働推進課で企画し子ども達に興味をもってもらうことで、受検につなげていければと考えています。

委員

新規事業として、子どもの体力向上を追加し先ほどご発言のあった豊田自動織機シャトルズさんの取り組みをあげ、駅伝で活躍している愛三工業さんをお願いして子どもたちに走り方を教えてもらったりする事業を企画してはいかがでしょうか。

事務局

こちらには基金を使う事業を新規事業としてあげていますが、子どもの体力づくりは市としても力を入れていきたい事業として、本日お配りしたおおぶ子育てガイドブックの 4 ページにも掲載しており、令和 3 年度から対象を小学校まで拡充しています。

委員

民間保育所も子どもの体力向上のため独自に取り組んでいます。毎月 2 回、専門の先生をお呼びして、年少から年長までの園児にマットや跳び箱などを教えていただいています。

会長

体力向上の取り組みを市内の企業などともうまく連携をとりながら進めていくことを含めてご検討いただければというのが委員さんのご意見かと承りましたが、事務局の方でもすぐにできるかわかりませんが検討をお願いしたいと思いますと思いますがよろしいでしょうか。

事務局

本日事務局として出席していませんが、健康都市スポーツ推進課では、子育てに限らず総合的にスポーツを通した活動を推進しています。本日いただいたご意見を共有し積極的に進めていきたいと思っています。

5. 閉会あいさつ（健康未来部長）

以上